

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

## 阪急交通社グループ 旅行概況(4月分)について

2022年4月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

### 株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	33,862	9,429	359.1%	15,523,589	0.2%
国内旅行	7,653,884	1,605,626	476.7%	15,057,505	50.8%
外国人旅行	0	0	—	800,136	—
合 計	7,687,746	1,615,055	476.0%	31,381,230	24.5%

#### 【概況】

4月の営業概況は、総取扱額76億8,774万6千円、2019年度比24.5%となりました。

海外旅行では、4月1日から106か国において感染症危険情報がレベル3からレベル2に引き下げられたほか、4月10日から1日あたりの入国者数の上限が1万人に引き上げられるなど、募集型企画旅行の再開に向けて進展の兆しが見られました。しかしながら、各国の安全性をはじめ総合的に判断し、募集型企画旅行の催行中止を継続したため、低調に推移しました。

国内旅行は、3月下旬のまん延防止等重点措置の解除以降、回復が進みました。観光需要喚起策の「県民割」が「ブロック割」へと移行し、対象地域が拡大されました。それに伴い、全国で積極的な募集広告を展開したことにより、近距離旅行の回復が進みました。一方、航空機を利用した遠距離商品の伸びは限定的であったため、コロナ前の2019年度4月との比較では50.8%にとどまりました。

## 株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	1,227,753	298,784	410.9%	3,535,213	34.7%
国内旅行	124,479	97,630	127.5%	218,159	57.1%
外国人旅行	0	0	—	13,874	—
合 計	1,352,233	396,415	341.1%	3,767,248	35.9%

### 【概況】

4月の営業概況は、総取扱額 13 億 5,223 万 3 千円、2019 年度比 35.9%となりました。

海外旅行は、4月から水際対策緩和など、ビジネス渡航の需要回復に向けて進展の兆しがみられましたが、ロシアによるウクライナ侵攻や上海のロックダウンなどの国際情勢の影響もあり、ビジネス渡航の回復には至りませんでした。

国内旅行は、3月下旬のまん延防止等重点措置の解除に伴い、企業の出張需要は緩やかな増加傾向で推移しました。

## 阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	76,666	18,536	413.6%	304,815	25.2%
国内旅行	1,210	2,166	55.9%	6,526	18.5%
外国人旅行	0	0	—	0	—
合 計	77,876	20,702	376.2%	311,341	25.0%

### 【概況】

4月の営業概況は、総取扱額 7,787 万 6 千円、2019 年度比 25.0%となりました。

## グループ3社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル、阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	1,265,055	306,778	412.4%	19,071,765	6.6%
国内旅行	7,752,299	1,688,496	459.1%	15,182,187	51.1%
外国人旅行	0	0	—	814,010	—
合 計	9,017,355	1,995,274	451.9%	35,067,962	25.7%

\*グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724